

鎌倉の
温古堂
創業弘化四年
神具・仏具・御宮
香具・香・香炉

フーフでナムナム
宮〇四六七(22)七六七六

4月1日号
2019年(平成31年)
第481号
毎月1日発行
(一部税込108円)
http://kamakura-asahi.com



鎌倉朝日

発行所 鎌倉朝日新聞社 ☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰亭
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

鎌倉 題字は建長寺派僧長 吉田 正道

みほとけ紀行 (91)

建長寺塔頭正統院・大黒天像

三寒四温の晴れ間建長寺塔頭正統院を訪ねた。塔頭とは歴代祖師(高僧)のお墓であり、墓をお守りする小庵を塔頭といふ。正統院は建長寺第十四世高峰頭白(後醍醐天皇の皇子、那須の雲巖寺開山)をお守りしている塔頭です。禅宗はそれぞれ開山の法系が多岐で、特定のな教相や聖典を絶対視した

現在も臨済宗は多くの派が存在しながら各派の祖師をさかのぼればブツダにゆきつく一体感があります。正統院もそんな系譜の由緒ある禅院であります。

さて、今号の御仏は微笑み豊かな大黒天像であ

紙凹版画 日本の城



版画・熊本城(タテ50×ヨコ110㍍)



スケッチブックを手にした井上さんと門下生たち

北の弘前城から南は熊本城まで1996年から2010年にかけて制作した作品22点を紹介する。全作品が一堂に会す展示会は初めてという。2012年、鎌倉に転居し、2013年に鎌倉生涯学習センターで「版画平家物語」の六曲屏風十二双一隻、全長76㍍を完成させた。2012年、鎌倉に転居し、2013年に鎌倉生涯学習センターで「版画平家物語」の六曲屏風十二双一隻、全長76㍍を完成させた。2012年、鎌倉に転居し、2013年に鎌倉生涯学習センターで「版画平家物語」の六曲屏風十二双一隻、全長76㍍を完成させた。

4月1日~7日
鎌倉美術館

鎌倉在住の版画家・井上貞男さんか江戸時代の城を再現

鎌倉市浄明寺在住の版画家・井上貞男さん(87)が、4月1日から7日まで鎌倉美術館で紙凹版画「日本の城」の作品展を開く。井上さんの鎌倉での展示会は5年ぶり。

井上さんは1932年にカッターナイフで線を描き、現状写真だけでなく、作品にはできる範囲で絵画などによって橋や堀、御殿などを描き加え、山城・平山城・平城・水城の特徴を出すことに留意したという。

今回展示会を企画したのは、井上さんの高校の教え子・坂井勝也さんと、20年ほど前から井上さんに紙凹版画の技法を習っている門下生グループ。村田恒代さんは「先生が生み出した技法を磨き、後世に伝えていきたい」と羽村市(東京)から毎月通っている。「ぜひ多くの方に知らんいただきたい」と話している。

午前10時~午後5時(初日は午後2時)。入場無料。問い合わせ坂井さん ☎090・2412・7814



和尙様の好意で台座の裏を見せていただき、三橋永作康運、慶応四年と記された銘文が残っていました。

さらに「実はこの大黒天は昨年11月建長寺で開催された『禅と茶道と鎌倉彫』に出展されていた」とうかがい、ここはぜひとばかり鎌倉彫二陽堂を訪ね、三橋鎌倉氏

(先代)にお話をお聞きしたところ、この大黒天は紛れもなく二代前の三橋鎌倉山作の鎌倉彫の大黒天像であるとお墨付きいただきました。鎌倉彫として代々受け継がれた名工の手による大黒天。そして今なお当代の三橋鎌倉氏に受け継がれ、新たな展開が楽しみです。

鎌倉ならではの正統院大黒天は、お寺の庫裡で静かに微笑んでおられます。

木造。像高24.5cm、1868年(慶応4)三橋鎌倉山作。※拝観不可。

梅花はんぶん

井上峰亭

http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉の町並と日本人の心に馴染む家づくり

KAMAKURA STANDARD

戸井田工務店

0467-24-7777

www.kamakura-standard.com

鎌倉の年中行事 4月

- 若宮例祭 3日10時、鶴岡八幡宮。
- 釈迦如来立像開扉 7・8・9日、極楽寺。
- 灌仏会(花祭り) 8日、各寺院。
- 忍性塔公開 8日10時、極楽寺。
- 丸山稲荷社例祭 9日10時、鶴岡八幡宮。
- 鎌倉まつり 14・21日。14日行列巡行(若宮大路・鶴岡八幡宮)、静の舞。21日流鏝馬・鶴岡八幡宮。(6面に案内)
- 義経まつり 20日、満福寺。
- 鎮大師正御影供大祭 20日青蓮寺。

おわび 3月号1面の「鎌倉の年中行事」の記事で、「献詠披露式」の日にちが3月31日となっていたのは23日の誤りでした。おわびして訂正します。(N)

京都に出張の帰り、新幹線の出発まで1時間あったのでタクシーでお任せ観光を楽しみました。いろいろな話をしながら、外国人に対する対応で「キャッシュレス」の導入だけでなく、どのタクシーも翻訳アプリを活用しており、簡単な会話であればお互いにストレスなく楽しめるような環境になっていました。それ以上に驚いたのは、京都駅のタクシー乗り場に「外国人優先レーン」が設けられていたことでした。タクシーの運転手さんが自ら外国語のプラカードを持ち、笑顔で出迎えていることも印象的でした。鎌倉駅前も整備される予定ですが、ハード面だけでなくソフト面に関しても期待しています。(N)

第54回 鎌倉美術展

日本画・洋画(油彩・アクリル・水彩・パステル・版画)・工芸(染織・陶芸)の作品を募集します

応募資格: 16歳以上、どなたでも
出品点数: 一人1点1部門
出品料: 5,000円 25歳以下3,000円
搬入: 6月22日(土)・23日(日)鎌倉美術館ギャラリー
審査: 審査の結果は郵送で通知
賞: 鎌倉美術家協会賞 神奈川県知事賞 鎌倉市長賞 鎌倉朝日賞 ほか
展示会: 入選作は第54回鎌倉美術展に展示
会期: 6月28日(金)~7月4日(木) 10:00~18:00 (最終日は16:00)
会場: 鎌倉美術館ギャラリー(鎌倉市大船6-1-2 TEL0467-48-5500)

主催 鎌倉美術家協会
URL http://www.kamabiart.sakura.ne.jp/
(事務局) 〒248-0024 鎌倉市稲村ヶ崎5-36-10 野崎安廣方 TEL 0467-31-2976 (但し6月22日から会期終了までは鎌倉美術館に移ります)

後援 神奈川県、鎌倉市、鎌倉市文化協会、鎌倉朝日新聞社、tvk(テレビ神奈川)、ジェイコム鎌倉

企画展 映画大使 川喜多長政・かして夫妻の軌跡

2019.3.15(金) ↓ 7.7(日)

企画展観覧料 一般 | 200円(140円) 小・中学生 | 100円(70円)

鎌倉市川喜多映画記念館
神奈川県鎌倉市下2-2-12
HP http://www.kamakura-kawakita.org/ TEL:0467-23-2500